

三年学年だより

No. 1

4月号

令和8年4月

3年学年主任

モッタイナーゼ

令和8年度がスタートしました。いよいよ勝負の年ですね。総仕上げの1年を送るにあたってもう一度お話ししておきたいことがあります。それは「積極的なまじめさを身につけよう。自分から動ける中央高生を目指そう。」です。細かいことはもう説明しませんが、高校生活最後の1年を他人任せにだけはして欲しくないと思っています。

さて、閑話休題。自称「モッタイナーゼ」です。なかなかモノが捨てられません。一例を挙げます。2年ほど前まで持っていたバッグ・イン・バッグ（昔はセカンドバッグなんて呼んでました）。新婚旅行に出かける成田空港で買ったものでした。たぶん30年近く一緒にいました。奥さんから何度も「もう捨てたら」と言われ、いざ断腸の思いで捨てる前にLINEで娘・息子に「捨てるよ」って知らせたら、「え！？まだあったんや！」と言われ……特に頂き物が消費できず、もちろん捨てられず。我ながらヘンな性癖(?)だとは思いますが……理由は自分でもよくわかっています。モノがもったいないのではなく、そのモノにまつわる歴史とか、特に頂き物の場合はくださった方の思いとか、そういう「プロセス」まで捨てるのが、もったいないと感じさせる要因なんです。

みんなはこれまで中央高校で2年間、様々なことに取り組んできました。そしていろいろな成果を上げてきました。でも、その成果を維持するためには欠かせないものがあります。「継続」です。昨年度1年間、英単語を頑張ってきましたね。ある程度語彙力が上がってきたと思います。部活動を頑張っている人も同じ。技術も体力も上がってきたはずです。せっかく上がった力をみすみす手放したくはないでしょう？その成果を維持し、さらにレベルを上げていくためには、継続しかないのです。それを怠れば、今ある力だけでなく、これまでみんなが頑張ってきた「プロセス」も捨ててしまうことになります。もったいないじゃないですか。

この2年間を思い出すと、いろいろなことがありました。その結果今のみんながいます。もちろん過去にばかりとらわれず、未来志向で進んでいくことこそ重要なのですが、今があり、未来があるのも積み上げてきた過去があればこそです。やってきたことに間違いはなかった、だから自信をもって今を生きて、未来を追いかけよう！そう思える3年生の出発点であって欲しいと思います。

今年度もいい一年にしましょう。頑張ろうぜ、38期生！

でもなあ、いただいた紅茶もハンドクリームも、もったいないしなあ……でもなあ、置いといても質が落ちるし、使おうかなあ、あ、でもなあ、もったいないしなあ……